

競技注意事項

1. 競技規則について

2026年陸上競技連盟規則及び、本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 招集について

- ①トラック種目の選手招集は、第3ゲートバックスタンド下にて実施する。フィールド種目は現地招集とする。
- ②招集開始時刻になったら、アスリートビブスおよびスパイクの確認を受けること。
- ③最終点呼における代理人は認めない。ただし、多種目を同時に兼ねて出場する選手は、最初の種目の招集完了時刻までに、招集所へ「多種目同時出場届」を提出すること。その際、出場するすべての種目のアスリートビブスおよび競技用靴の点検を受けること。なお、種目間の移動については役員の指示に従うこと。「多種目同時出場届」はエントランスホールのTICに設置する。
- ④ 各種目を欠場する場合は、招集開始時刻の30分前までに、所定の「欠場届 (V-TIC)」を提出すること。なお、招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目を欠場したものとみなす。（「11. V-TICについて」を参照）
- ⑤ 携帯電話、スマートフォン、タブレット等の機器は、招集所内および競技エリア内へ持ち込まないこと。
- ⑥ 招集時刻は、競技開始時刻を基準として設定する。

トラック											
100m・300m			3000m・10000m			300mH・4×100mR			4×400mR		
組	開始	完了	組	開始	完了	組	開始	完了	組	開始	完了
1~6	25分前	15分前	1	25分前	15分前	1~3	25分前	15分前	1~2	25分前	15分前
7~12	15分前	5分前	2	15分前	5分前	4~	15分前	5分前	3~4	15分前	5分前
13~18	5分前	5分後	3	5分前	5分後				5~	5分前	5分後
19~24	5分後	15分後	4	5分後	15分後						
25~30	15分後	25分後									
31~36	25分後	35分後									
37~42	35分後	45分後									
43~48	45分後	55分後									
49~54	55分後	65分後									
55~60	65分後	75分後									
61~68	75分後	85分後									

フィールド（現地）	
跳躍	投てき
40分前	30分前

3. アスリートビブスについて

- ①アスリートビブス（縦16cm×横24cm）は、男子は黒字、女子は赤字で明瞭に書き、必ず胸、背につけること。ただし、跳躍競技に出場する競技者は胸部または背部だけでよい。
- ②写真判定にともなう腰ナンバー標識（縦12cm×横18cm）は陸協登録番号で作成する。男女とも黒字で明瞭に書き右腰後方につけること。リレーについては第4走者のみ右腰後方につけること。
- ③3000m、10000m決勝についてはオーダー順の腰ナンバー標識を招集所で配付する。フィニッシュ後に係に返却すること。

4. 競技の抽選および番組編成について

- ①決勝の組み合わせ（レーン順）はすべて番組編成員が公正に抽選をする。
- ②リレーについては第1組招集完了時刻1時間前までにオーダー用紙を招集所に提出すること。ただし4×100mRの予選は女子8:30、男子8:45までに提出とする。（オーダー用紙はT I Cに置く。）
- ③タイムによるプラスの決定は、プラスの明示してあるチーム以内の同記録者数であれば次のラウンドへ進める。プラスのチーム数を越える同記録チームが出た場合は、写真判定によっても着差が認められない時、抽選により次のラウンドへの進出を決定する。

5. 競技について

- ①競技者に対する助力については、TR.6に準ずる。
- ②次の種目について、下記のタイムを超えて周回を残している場合、競技運営上フィニッシュ地点で競技を中止させるので、審判員の指示に従うこと。
(男子) 10000m 35分
- ③300mHはWA規格（7台）とする。
- ④フィールド種目の試技は3回とする。
- ⑤アドバイスや撮影した動画等の確認については、コーチ席から行うこと。ただし、以下の行為を禁止とする。
 - 1)メイン・バックスタンドで実施されている種目の出場選手が、サイドスタンド下に移動して確認すること。
 - 2)メイン・バックスタンドにおいて、録画再生機器の吊り下げ・手渡しすること。
 - 3)その他、危険と思われる行為に関しては禁止とする。

6. 走高跳のバーの上げ方について

	練習	バーの上げ方
男子	1m45、1m70、1m90	1m50-55-60…1m90-93-2m02 以降3cm刻み
女子	1m20、1m40、1m50	1m25-30-35…1m45-48-51 以降3cm刻み

7. 競技用具について

- ①競技に使用する用具は、棒高跳用ポール以外、競技場備付けのものを使用しなければならない。ただし、やりについては、1人2個以下のものに限り、当日検査の上使用を認める。このとき、すべての競技者が使用できることが条件となる。
- ②やりの検査は競技開始の1時間前より40分前までに、100mフィニッシュ側の用器具庫で行う。やりには所属名を記入しておくこと。前回の検査済シールは剥がしておくこと。
- ③スパイクシューズは全天候型のピンを使用し、その長さは9mm以内とする。ただし、走高跳、やり投は12mm以内とする。いずれの場合もスパイクピンの数は11本以内とする。
- ④サークルから行われる投てき種目（砲丸投、円盤投、ハンマー投）を、競技用靴に関する規程 (Athletic Shoe Regulations) の適用対象から除外する。
- ④シューズ（スパイク、ランニングシューズ含む）の靴底（ソール）の厚さについては、レース後および競技中に確認することがある。

8. 表彰について

- ①リレーについては、各種目3位まで表彰する。成績発表のアナウンスがあったらただちにエントランスホールに4名そろって来ること。
- ②県選10000m優勝者には、7月の滋賀県選手権大会で選手権章と賞状を授与する。但し、選手権章は県内登録者に限る。

9. 滋賀県選手権4×400mRの出場権について

- ①滋賀県選手権大会（4×400mR）へのエントリーについては、所属で1チーム（滋賀県登録選手に限る）とし、今大会の記録の上位8チームとする。

10. ウォーミングアップについて

- ①本競技場での練習時間は7:30～8:50とする。
補助競技場での練習時間は8:00～16:00とする。

- ②本競技場、補助競技場とも競技場備え付けの用具を使用すること。ラダー、ミニハードル、ゴムチューブ等を使用してのスピード練習は禁止する。
- ③本競技場でのレーンの使用は、1レーンは400m以上のスピード練習、2レーンはジョグ専用、3～7レーンは短距離練習、8・9レーンはハードル練習とする。補助競技場でのレーンの使用は、1レーンは400m以上のスピード練習、2レーンはジョグ専用、3～6レーンは短距離練習、7・8レーンはハードル練習とする。
- ④補助競技場での跳躍練習については、助走練習のみ可能とする。ただし、使用した者で準備と片づけをすること。マットや踏切版の使用はできない。
- ⑤投てき練習（メディシンボール等を含む）は、競技場内外を問わず一切禁止する。
- ⑥ウォーミングアップは補助競技場および室内練習場で行うこと。本競技場通路や駐車場周辺で、ダッシュ等のウォーミングアップは禁止する。

11. V-TICについて

- ①「欠場届」は下のQRコードを読み込んで、V-TIC内の専用フォームから提出すること。



12. その他

- ①本大会の記録証明書（500円）は、エントランスホールのTICに申し出ること。
- ②競技会開催中における怪我については応急処置の他は責任を負いません。十分注意すること。
- ③テントはメインスタンド、サイドスタンドは禁止する。バックスタンドは可とするが、風で飛ばないように設置すること。
- ④貴重品、荷物類は各自で管理し、盗難等に十分注意すること。
- ⑤使用した場所は責任を持って清掃すること。各自、各チームが出したゴミ等は持ち帰ること。競技場の環境美化に協力すること。
- ⑥競技場外でのテントの設営を禁止する。
- ⑦横断幕の設置は、サイドスタンドおよびバックスタンド最前列手すりとする。
- ⑧スマホ以外で撮影する場合は、エントランスホールのTICにて受付すること。撮影許可証は首からかけ、退場時に返却すること。また、撮影した画像を役員が確認する場合があります。内容によっては警察に通報する。大会で撮影した画像・動画等をSNS等へ投稿しないこと。